



77号 2019.12.20

<特集①>

第43回アイメイト・デー開催 (開催報告)

<特集②>

塩屋和子さんを偲んで



笑顔と感動に包まれた
アイメイト・デーでした！



連載記事

- 風を切って歩く幸せ (八方順子さん)
(齋藤正夫さん)
- 後援会メンバー紹介 (河相光彦さん)

後援会からのお知らせ

- これまでの行事・活動
これから行事・活動
- アイメイト募金芳名録
- 役員会議事抄録
- 会員のページ
 - ◆ 設置のお願い「アイメイト募金箱」
 - ◆ 新入会員の方々
- アイメイトサポートグッズ

繁殖奉仕のDさん

- 初出勤の夢を実現

アイメイト協会同窓会

- 同窓会の懇親会・研修会(11/17)
～地震や火災などの災害に備えて～

もっと知りたい! 視覚障害者スポーツ

- 5人制サッカー(ブラインドサッカー)

協会だより

- ◆ アイメイト卒業生人数
- ◆ 年末年始の予定
- ◆ 協会ウェブサイト「事業紹介コラム」
- ◆ アイメイト協会の啓発ポスター配付
- ◆ 見学日に参加してみませんか

公益財団法人アイメイト協会 第43回アイメイト・デー

代表理事挨拶・近況報告

アイメイト協会 代表理事

塩屋 隆男

第43回

アイメイト・デー開催



2019年10月27日(日)13:00～16:00、「全国町村会館」(千代田区永田町)にて、「第43回アイメイト・デー」が開催されました。全国で活躍するアイメイト(盲導犬)ペア29組をはじめ、ボランティア、国・自治体の職員、議員、支援企業・団体など、アイメイトに関わる総勢約240名が参加しました。

アイメイトに関わる様々な立場の方によるスピーチがあり、また、特別ゲスト山田雅人さんによる「かたりの世界」や、ミュージシャン ニシオカナヲさんによるスペシャルライブなども行われ、アイメイトに関わる多くの方々の相互理解を深める楽しい会となりました。



「かたりの世界」塩屋賢一物語を披露する山田雅人さん



弾き語りを披露するニシオカナヲさん



会場の入り口横でグッズ販売



塩屋隆男代表理事



後援会員が分担して受付をサポート



新入予定の職員による自己紹介



後援会役員 三村徳子さんのスピーチ



駅から会場までの誘導サポートのための
最終打ち合わせ



原祥太郎さんへの勤続表彰（横山堂さんは代理）

来賓祝辞

ご来賓の国会議員、厚生労働省、都議会議員、東京都、練馬区よりご祝辞を賜りました。



左から、内閣府大臣政務官 参議院議員 今井絵理子氏、練馬区長代理 福祉部長 中田 淳氏、東京都議会議員 柴崎幹男氏、厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 企画課 自立支援振興室 福祉用具専門官／障害福祉専門官 秋山 仁 氏、東京都福祉保健局 障害者施策推進部長 松山祐一氏

| アイメイトを語る |

「アイメイトを語る」のスピーチを一部を抜粋して紹介します。

アイメイトに、よく話しかけて

アイメイト使用者 高橋雅枝さん

失

明して白杖での歩行に神経をすり減らし、疲れ果てていた毎日をどうにかしたいと思い、アイメイト協会の歩行指導を受けたのが今からちょうど20年前のことです。それまで犬を飼ったことがなかったので、アイメイトにどう接していいかわかりませんでした。

お茶会の時に塩屋賢一会長から「よく犬に話しかけてください」とお言葉をいただきました。でも今では考えられないことですが、当時の私にとってはかばんに話しかけてくださいと言われていたようなもので、何を話したらよいかわかりませんでした。歩行指導の空き時間、部屋ではただただ無言でアイメイトをなでていたことを懐かしく思います。

アイメイトをほめることも大切なコミュニケーションなのですが、上手に障害物をよけたり指示に従ってくれたりした時に、指導員の方から「よくほめてください」と言われても、自己表現も苦手だったのでやはり当時の私はなかなかうまくほめることができませんでした。犬好きの人で1オクターブ高い声で犬に話しかける人がいらっしゃいますが、私にはとても人前であんなことできないと思っていました。

それがどうでしょう？ 20年がたった今、気が付いたらその「あんなこと」が平気できるようになっていました。電車の中でアイメイトがいている席を教えてくれると、「グッドー！ えらいねー！」と満面の笑みでほめています。心からえらいと思っていますから。そうすると彼もぶんぶんしっぽを振って喜んでいます。アイメイトのおかげで私もずいぶん変わったと思います。

今まで2頭の女の子、そして今は男の子のアイメイトと歩いています。1代目はおとなしい性格だけど好奇心は強い子で、2代目は誰にでも愛想をふりまくけど根はがんこな子でした。そんな性格の違う彼女達ですが、ひとつ共通点がありました。

私はピアノを弾くのですが、部屋で練習をしてい



る時、リストの「愛の夢第3番」という曲を弾き出すとよく「フーッ」とため息をつかれました。なぜだったのでしょうか？ 音楽がわかっていたのでしょうか？

今の男の子は音楽は全くわからないようで、コンサートに行っても聴いている時も舞台上でピアノを弾いている時もおとなしく足元で伏せているのですが、終わったとたんさっさと帰ります。とにかく歩くのが楽しいようです。

昨年からは埼玉県に住んでいるのですが、東京とは違ってどこへ行くにも遠くなりました。40分歩くことも多く、まさにアイメイト歩行の本領発揮です。「キンモクセイが咲き出したねえ、いい匂いだねえ」「銀杏くさいねえ」などとアイメイトに話しかけながら歩いています。

最近はスマホのナビアプリで道路や周りの情報がより正確にわかるようになって迷子になる頻度が減ったので、歩くのがますます楽しくなりました。これからもアイメイトによく話しかけて、ほめて、2人5脚で歩いていきたいと思っています。

生涯のライフワークとして

繁殖奉仕者 鈴木節子さん

我

が家には今、繁殖犬とリタイア犬と不適格犬がお留守番をしています。今日は繁殖のお話との事です、夫が後援会々長で、私自身は東京盲導犬協会の頃から後援会員としてお手伝いをしてきました。まだ30代の若かりし頃です。当時は同窓会のレクリエーションや点字やカセットテープの発送のお手伝いを少人数で行っていました。レクリエーションでは、紀宮様が明治神宮でバードリスニングに参加されて、行動を共にさせて頂いた貴重な思い出があります。同窓会のお手伝いで協会に行く時は、犬舎や運動場にいる犬たちを見るのが楽しみでした。

そんな時に一頭のリタイア犬を引き取ったことから、のべ13頭を看取りました。そのあとに当時の塩屋賢一理事長奥様の和子夫人から、「今度から繁殖をしてください」と言われ、「経験が無いので自信ありません」と断りましたが、「犬が全部やるから大丈夫」の一言でつい承諾してしまいました。今から20年以上前のことです。

当時はインターネットも知らず、本屋で犬の本を探しましたが、しつけの事は書いてあっても繁殖に関しては殆どありませんでした。犬は安産と言いますが、とんでもない。泣きわめいたりこそしません、目を細め、眉間にしわを寄せて床を引っかき、息をハアハアして痛みに耐えています。私はせいぜい母犬の体をさすって励ますことしか出来ません。でも産んだ後は母犬が全部処置をするので、手伝うどころか、逆に手を出すと「やらないで」とウーウーとうなります。子犬を隠そうとして口に咥えるので、敷き物を換えるにも恐る恐るでした。

その母犬の産んだ子も繁殖犬に選ばれて我が家に戻って来て、母娘で出産する時もありました。時期が重なった時はサークルを分けましたが、見分けが付かないかな？と思ったら、一回、違う方に入った時に慌てて踵を返して出てきたのには感心しました。

でも犬も時代と共に変わってきて、最近の母犬は警戒心が無く、出産の時に他人がいても平然としています。子犬を口で咥えることもしません。と同時に、出産時の世話を人任せにして、自分の体ばかり



舐めていたりする時は、私のはさみと糸で臍の緒の処置をします。また仮死状態で生まれた時も私が口で人工呼吸をします。すぐに息を吹き返すときもありますが、一時間くらいして声を出したときは肩の力がどっと抜けます。たとえ何頭も生まれても命は一つも無駄にしたくないですから。

これまでに繁殖犬が延べ13頭ほどになり今も2頭の母犬を看ています。生まれた子犬の数は10年前に100頭になってからは気にしていなかったのですが、今回数えてみたら来年には200頭になりそうです。自分の年を感じました。

何頭いても私にとってはどの子も同じ、どこで生まれた子も同じで、ただただ可愛いだけです。アイメイトに関わる犬たちはどの子も皆同じです。出産から巣立ちまでの2カ月間で別れても、その先は気にしません。アイメイトになってもならなくても、またリタイアしてもきっとどこかで幸せに暮らしていると信じています。犬自身だけでなく、育てる人はじめ関わる人の全てに犬が幸せを届けるものと信じています。それが私の励みであり、生涯のライフワークとしてこれまでも、またこれからも続けて行きたいと思っています。

よく人から感心されたりしますが、これはどうも子犬に触れることでオキシトシンというホルモンが分泌されて幸せな気分になる事が要因かもしれません。子犬のいる2カ月間はお客様がたくさんみえますが、皆さんも癒されてハッピーになって、どんな薬にも勝る効果だと思います。こんな素晴らしい体験を与えて下さる、理事長ご夫妻はじめ協会の皆様様に感謝しています。ありがとうございました。

これからの成長と、活躍を楽しみに

飼育奉仕者 ^{みやいり} 宮入香織さん

私

が飼育奉仕をやろうとしたきっかけからお話します。

私は小さな点訳会で活動しています。そこにはアイメイト使用者の方がいますので以前から興味がありました。娘が小学生の時のことです。福祉の授業があり点字、白杖体験、お話を聞く機会がありました。あるとき娘が帰ってくるなり、「おかあさーん！ 今日学校に盲導犬が来た！」「目が見えなくても包丁を使ってお料理もするんだって！」などなど興奮気味に話します。一つ一つが驚きのことだったようです。話を聞いていくと来たのは点訳会にいるアイメイト使用者の方。飼育奉仕をするのだったら興味のある今がチャンス！娘たちに話すと「やりたーい！」と即返事、思い切って迎え入れることにしました。

1頭目はイエローの子、我が家に来てびっくり。吠えないし、私たちが食べている間も静かで子供の頃飼っていた柴犬と大違いです。トイレは私たちも不慣れで覚えるのに時間がかかりましたし、いたずらもしますがとても素直なのです。1度もワン！と吠えなかったことには感心しました。お別れの時…よくテレビでは涙のお別れですが、近所の子供たちも出てきてとても賑やかでした。車に乗るとなんでここにいるのかな～と考えている様子、よくわからうちに「バイバ～い！がんばってね～」。私は淋しさもありましたが、無事育て終え、送り出せたことにほっとした気持ちでした。そして、デビューできた時にはみんなで大喜びしました。娘たちも親の気分を味わえたことと思います。

2頭目、子犬の来る日娘たちは「今度は何色かな～黒ラブがいいな」なんて言いながら待っていました。すると車から出てきたのは真っ黒のクマのような子。ぽんぽこりんの肌色のお腹でなんとまた違ったかわいさでした。2頭目では候補犬でもいろいろな個性があると知りました。この子はアイメイトよりほかの作業犬、麻薬探知犬が向いているのではと思うほどクンクン臭いを追跡したり、手も器用で何かとポン！と手をだす、小さい頃独特の動きのあるおもしろい子でした。最後のお別れもしっぽをふりふりご挨拶、車の臭いを嗅ぐのに夢中で振り返りも



せず、緊張した様子もなくバイバイでした。これらのことを通してパートナーを誰とといったこだわりのない犬種で、一生の中で数回変わってもうまくやっていけるのだと自然に感じることができました。

そして、今が3頭目、イエローの子です。アレルギー症状が出ての治療、そして、さびしがり屋でキャンキャン、クンクン、そのうちワン！よく吠えるのです。ピアノで猫ふんじゃったを弾けば「あ～う～」と遠吠えです。子供たちにも本当に候補犬なの？と言われてしまうほどでした。悩み多き3頭目、またまた個体差を実感しました。そして協会に電話し、アドバイスを受けました。するとどうでしょう、今まで思うようにいかなかったのにその通りにやってみると即効果、ワン！と吠えなくなりました。また、ケージを口であけて脱出し得意気だったのも、開けなくなりました。大変身です。甘えん坊な分ほめられたい気持ちが強かったのもあるかもしれません。今、多少のいたずらはしますがアイメイトの子犬らしく過ごしています。

飼育奉仕をやって、一緒に旅行も楽しみのひとつです。このお正月も祖父母を交えて旅行に行きます。大人数、犬連れなので泊まれる宿を見つけるのに一苦労ですが…、たくさんの経験をしてもらい、私たちの方は思い出をと思っています。

これからの成長を楽しみに、巣立ったら活躍を楽しみに、時間がたっても時々思い出しては陰ながら応援しています。私たちには素晴らしい体験がありありがとうございました。

すばらしい家族として

リタイア犬奉仕者 中村敬人さん

昨

年の春、練馬区役所で開催された「アイメイトの啓発イベント」で、ボランティア飼育の存在を知りお受けしました。

4年前に黒ラブを15歳で亡くし、寂しい期間を過ごしておりましたが、60歳を超えてから新たに子犬を育てるのはパワーがいると思い諦めておりました。里親探しも考えましたが、こちらから積極的に探すのには抵抗があり、「何かご縁があれば…」位に考えておりました。

突然リタイア犬の連絡が入り、早速アイメイト協会を訪ねました。8歳の元気な女の子で、いきなりお腹を見せるなど「人懐っこいラブ」でした。

「こんなに早くリタイア犬って出るのですか？」と聞いたところ、「このように早いのは本当に珍しく、ご縁ですね」と言われ引き取る事に決めました。

その後お会いした塩屋代表理事からも「引き取って頂けるだけで感謝です」と言われ、信頼されていることを大変嬉しく思いました。

私は自分のラブラドル・レトリバーを災害救助犬にする活動を10年程しておりました。阪神淡路大震災が発生した際、救助犬は日本には存在しておらず、スイスから来た救助犬は検疫のため足止めされ、救える命も救えない状況でした。知り合いが「家庭犬を災害救助犬に育成して地域で人を救おう」とボランティア団体を設立し、救助犬育成の勉強をしてみました。

犬の最大の武器である「嗅覚」を使い、人を見つけたら「吠えて教える」という訓練を解体現場や山で行って来ました。認定試験には合格はしたものの、出動の機会は無いまま15歳の生涯を閉じましたが、犬の能力のすばらしさ、特にレトリバー系の能力には驚かされました。

今回、アイメイトのリタイア犬を引取りましたが、同じ犬種でありながら性格が全く違うことに驚きました。人懐っこいラブの性格は同じですが「吠えない」「逃げない」「鼻を使わない」という全く正反対の性格で同じラブとは思えません。しかし、「吠えない」「逃げない」が日常生活では最も大切であり、他人からこれほど「偉いわねー」と言われるとは思いま



せんでした。牀で困っている飼主にとっては、「吠えない」「逃げない」は羨ましいようです。

彼女との生活も1年半が過ぎ、すっかり家族の一員となりました。穏やかな性格で基本訓練が出来ますので、日常生活は楽で負担になる事はありません。特にヨーロッパの犬は作業犬としての能力が高く、特にラブラドルは人間が大好きで最高の家族となります。

大型犬は人間の7倍で年を取ります。彼女は現在、私と同じ定年を迎えたシニア世代です。少しでも長生きして欲しいですが、一緒に居られるのは5年程度です。何匹もの犬を飼って最期を看取ってきましたが、幸せな時と一緒に暮らせればそれが一番だと思っています。

最後に誤解を解くためにも申し上げます。アイメイトの仕事は彼女にとって過酷ではなく、楽しい作業であったのではないかと思います。犬は楽しく教え、褒めて訓練すると習いました。今でも指示に従った時は「グッド！グッド！」と褒めると、誇らしげに「どうよ！」という顔を見せます。今後もすばらしい家族として飼っていきますので、どうぞご安心ください。

また、名称こそ「ボランティア」ですが、奉仕されているのは私と家族です。本日はどうもありがとうございました。

自分の弱さと向き合って

協会職員 杉山薫さん

ア イメイト協会に入り今年で5年目になります。出身の長野県を出て入社面接に来たのがもう5年も前だと思うと、本当にあっという間に感じています。

入社の面接の際に、ある職員が次のようなことを言っていました。それは、「この仕事は自分の弱い部分と嫌でも向き合うことになる」、ということでした。

入ってすぐにその意味が分かりました。アイメイト協会の研修生は、まず掃除を徹底的に教え込まれます。掃除を通じて、まあ良いか、これくらいで良いだろうといった弱い心は、眼光鋭い上司、先輩方に全て見抜かれてしまいます。曖昧なことは通用せず、見て確認、触って確認、物をどかして全て拭く、というのが掃除の基本です。

掃除を通して、だいたい、なんとなく、で逃げたい弱い心と毎日のように向き合うことになりました。特に、横山課長には厳しく、毎日のように、体に染みつくまで指導していただきました。当時は苦しくもありましたが、今、私も後輩を教えるようになり、毎日指導し続けることがどれだけ根気のいることなのか想像できるようになりました。

一昨年の9月、初めて担当指導員として歩行指導を行いました。そこで、言葉で伝えることの難しさを体感しました。

例えば、「ハーネスのハンドルを握る」、ということ一つとっても、緩くふわっと握るのも、強くぎゅっと握るのも、握ることに変わりはありません。細かいニュアンスを言葉にし、何度もやりとりしてはじめて、どう「握る」のか、相手とイメージが一致します。

言葉の引き出しの少ない私は、なかなか上手いきません。原部長は言葉を巧みに操ります。入社したときからそんな原部長に憧れています。

ですが最近、原部長に言われたことがあります。それは、「言葉の上手い下



手ではなく、これを伝えたいという熱い心を持ってぶつかっていくことが大事」ということです。私には熱い心でぶつかる、というのが足りないと言われるかもしれません。これからこの自分の弱さと向き合っていかなければなりません。

はじめの面接の時に言われた、「自分の弱い部分と嫌でも向き合うことになる」、というのは本当のことでした。そしてそれは終わりがなさそうです。

自分の弱さと向き合わなければならないこの仕事は、苦しいこともあります。私はこれまで辞めたいとか、辞めてしまおうというふうに思ったことはありません。それはもちろんやりがいや、指導して下さる上司や先輩方のお陰ですが、それだけではありません。いつも、応援しているよ、頑張って、と暖かく見守ってくださる後援会や支援者の方々、また、次に来たときは杉山さんの指導が楽しみだ、と応援して下さるアイメイト使用者の皆さん、そんな周りの方々の言葉に、毎度毎度励まされてきました。

たくさんの出会いがあるアイメイト協会は本当に素晴らしいところだと思います。アイメイト協会の一員であることを誇りに思います。そして、あこがれの原部長や横山課長のように、早く一人前の歩行指導員になれるよう頑張ります。ご静聴ありがとうございました。



【参加した後援会員の声】

初誘導、たくさん勉強させていただきました

加藤誠治さん

「あなた、いまして声を掛けましたの？」何かを諭そうとしているような相手の口調。

「あの、いえ、改札と違う方向に向かっていたものだから。すみません」

「……。いまこの子が改札を探しています。もうちょっと待っていてもらえます？」

改札を探す練習をさせたかったのだ。これで2人目。なかなか難しい。

夫婦で楽しみながら社会や人のために役に立てるような活動に参加したいと考えていた。2人とも動物が好きで、父がこちらの活動に参加していたことを思い出し、お世話になった。

永田駅B1Fの改札口前の広いスペース。エスカレーターを上がったところから、改札口までの50mほどを誘導する。しばらくして一人目の女性が改札に歩いてきた。ポケットをもももぞしている。近づいて様子を伺うと「左に立たないでくれる」邪魔してしまった。

その後、付き添いがいらっしやらない年配の男性。別の係の方が誘導してきて「ここで違う者と替わります」少し緊張しながら自己紹介。教わったことを思い出し、右側に立ち腕を接触してみる。掴んでくれた。そのまま歩調を合わせて進み、立ち止まって改札に着いたことを伝えた。無事にPASMOをタッチして通過。次の係の方が引き継いでくれた。ほっとして振り返ると前の係の方が両手で大きく○のサイン。思わず○のポーズで答えた。

最後の方に、一人の女性がずんずんと改札に向かってきた。慌てて誘導しようとする「この子、ちょっとはしゃいでいるみたい」と朗らかに一言。慣れた様子で改札を通り抜けた。補助をどの程度必要としているのか、人によって、また障害の度合いによって様々だということを実感した。

会場では様々な立場の方々の経験談や想いが聞けてとても興味深かったが、中でも塩屋隆男さんの「犬が主役ではなく、人が主役」という言葉には思わずはっとさせられた。

また、皆さんの参画意識が高く、「良い会にしよう」という気持ちが伝わってきて心を打たれた。失敗も多かったが新しいことを学ぶ楽しさもあり、とても貴重な経験をさせていただきました。

使用者の方との見事な連携にただただ感心

橋本座さん

母が長年にわたりお手伝いをさせて頂いていたアイメイト後援会。亡き母の後を継ぎ、娘と一緒にアイメイト後援会に入会しました。そして今回初めてのアイメイトデーへの参加でした。

朝は出席するアイメイト使用者の方々を誘導するお手伝いもしました。永田駅構内の広場で待っていると、使用者の方々が続々とお見えになりました。事前に協会の方から誘導の仕方は聞いていましたが、実際のお手伝いの場面では、私は出口を二言三言で伝えるのみで、アイメイトが見事な誘導で先へ先へと進んでいきました。初めての場所ということが予想される中で、アイメイトの賢さと、使用者の方との見事な連携にただただ感心するばかりでした。

そしてアイメイトデーでは、来賓の方々の祝辞、塩屋代表の挨拶から始まり、山田雅人さんのユーモア溢れるかたりのせかい、ニシオカナヲさんの熱のこもったミニライブ、使用者の方のお話、その他、後援会の方々の日々のアイメイトとのお話、協会の職員さんの挨拶と、どの場面も興味深く、笑いあり感動ありのあっという間の3時間でした。特に使用者の方の、3頭の犬の個性が全く違うお話はユーモラスでアイメイトの姿が目につかび、微笑ましい気持ちになりました。

最後に何より感心したのは、会場の中にいる約30頭の犬が全く気配を感じさせないことでした。その姿に改めて娘と共に感心いたしました。今後も微力ながら後援会の活動に参加し、私自身も楽しんでいきたいと思いました。



追悼特集

塩屋和子さん(享年 93)を偲んで

(公財)アイメイト協会 塩屋隆男代表理事の御母堂 塩屋和子様におかれましては、2019年6月26日にご逝去されました。和子さんを慕う後援会員やアイメイト使用者、協会の支援者などから寄せられたたくさんの追悼文と写真で故人を偲びたいと思います。



塩屋和子夫人を偲んで

アイメイト後援会員 松岡美都さん

去る6月に塩屋和子夫人の訃報に接しました。塩屋賢一前理事長をずっと支え続けてこられた和子夫人のことを改めて思い返しております。サラリーマン夫人から一転して、ご夫君の強い志（視覚障害者の自立のためのアイメイトの育成）に寄り添って、長くて遠くて大変な道のりを歩まれました。本当にご苦労様、お疲れ様と心から申し上げます。

1957年、河相渕さんとチャンピイ（アイメイト）のカップルが日本で初めて誕生しました。塩屋先生は試行錯誤の中、先ずシェパードを躰けて、その後、河相氏にチャンピイの扱い方を指導、その後、実地に歩行の訓練を続けたと聞いています。塩屋先生のご努力はもちろんですが、同時に和子夫人は縁の下の方力持ちとして合

宿中の河相氏の食事や身の回りのお世話をなさったことでしょう。

その後もアイメイト第2号、第3号が誕生していきます。当時は訓練センターありませんから塩屋家に訓練生は寝泊まりします。まだまだ電化製品も少ない中、和子夫人は訓練生の身の回りのお世話や食事の支度などを担当されました。

1971年に東京盲導犬協会が発足しましたが、まだまだ世間では盲導犬の認知度は低くて、乗り物や飲食店への受け入れ態勢は整っておりませんでした。やがて名称もアイメイト協会に改まり、塩屋先生を筆頭に使用者の方々を含めて多くの関係者たちが啓発活動に努力をした結果、現在は全ての交通、店舗、飲食店、ホテルでアイメイトの存在はやっと市民権を得ました。手狭だった訓練センターも現在の場所に移り、より機能的な宿舎も出来ました。和子夫人も少しホッとされた頃かと思います。

東京パイロットクラブという団体があります。社会で活躍するビジネスウイメンが主宰しており（男性のライオンズクラブ、ロータリークラブのようなもの）、毎年、社会にひっそりと貢献している女性を表彰しています。1979年に塩屋和子さんがその対象に選ばれました。よく選んでくださった、とその選択肢に敬

意を表します。それ以後、ずっと東京パイロットクラブはアイメイトチャリティコンサートを開いてくださっています。最初は会員のソプラノ歌手鎌田滋子さんのお宅でささやかに開かれましたが、以後はサントリーホールのローズルームで催されています。今年も5月に第35回目のコンサートがありました。アイメイトを応援してくださっている黒田清子さんが必ず参加してくださいます。たまには上皇后美智子さまも一緒に。アイメイト使用者の天野亨さん（テノール）、大石亜矢子さん（ソプラノ）や高橋雅枝さん（ピアノ）も出演されました。何年か前に美智子皇后（当時）と紀宮（当時）がお越しの際に、お隣に座って嬉しそうにお話をしておられた和子夫人を思い出します。黒田清子さんの帝国ホテルでの結婚披露宴には名誉なことにご夫妻で招待されました。それまでの大変なご苦労が少しは報われたひとときだったでしょうか？

9年前に亡くなられたアイメイト協会前理事長塩屋賢一氏と2人3脚で歩まれた人生。お二人の努力は実を結んで視覚障害者のみなさんの自立の大きな助けになっております。これからもいいアイメイトが育って、視覚障害者とのペアが増えますように、協会の発展を心から祈っております。





塩屋和子様と 東京パイロットクラブ

東京パイロットクラブ会長
鎌田滋子さん

塩屋和子様のご逝去に接し、大変悲しい気持ちで一杯でございます。

和子様と、東京パイロットクラブとのご縁は、1979年にさかのぼります。

1976年に、東京パイロットクラブ設立25周年を記念して、隠れた女性の篤志家に贈呈する賞として「東京パイロット賞」が設立されました。この賞は、今まで、あまり表舞台には出ることはなくても、福祉事業や社会貢献を地道になさっている女性の方を選び、社会に紹介しようとの、意図で設けられました。

その第4回の「東京パイロット賞」受賞者が、塩屋和子様でした。和子夫人は、ご主人である、アイメイト協会（当時は東京盲導犬協会でした）初代理事長の塩屋賢一先生の縁の下での力持ちとして、特に、アイメイトと使用者の合宿訓練時の、生活面（食事・入浴・洗濯等）のお世話を、一手に引き受けて、優秀なペアを送りだしていらっしゃいました。まだ、協会も規模が小さく、限られた数の訓練士の方々、従業員の方々に、運営をしてらした時代です。視覚障害の方々にとって、将来の自身の「眼」となる、アイメイトとの合

宿訓練は、不安と期待の入り混じった、期間です。その中で、和子夫人は、視覚障害を持つ使用者へのきめ細かい、温かい配慮で、生活面を支え続けられました。

塩屋賢一理事長は、それまで、いくつかの福祉関係の表彰を受けておりましたが、もちろん、和子夫人が、表彰されたのは、初めてと伺っています。この事を、賢一先生は、とても、喜んで下さいました。このご縁をきっかけに、その後も、ご夫妻で、東京パイロットクラブ主催の「アイメイトチャリティコンサート」（今年5月で35回目を迎えました）へのご協力や、50周年、60周年の節目の年の「東京パイロット号」の贈呈等にお心をお寄せ下さり、今日の、塩屋隆男理事長に、引き継いで下さっていることは、東京パイロットクラブとして、本当に嬉しく、誇りに思っております。

2021年、東京パイロットクラブは設立70周年を迎えます。これを記念して、アイメイト「東京パイロット第3号」を現在、隆男理事長にお願いしております。素晴らしいペアが披露されることを、大変楽しみにしております。

賢一先生、和子夫人、どうぞ天国から、これからも素晴らしいアイメイトの誕生をお見守り下さい！

和子さんの思い出

アイメイト協会同窓会会長
千代元子さん

和子さんの思い出は、夏の時期で初めての歩行訓練の時に、肌寒い日があって私が薄着しか用意していなかったので、長袖のブラウスを貸して下さいたのがとても嬉しかったです。

当時の職員は男性ばかりで、和子さんは女性の立場からも色々助けて頂きました。私は幼い子供二人を家に置いてきていたので、休日には塩屋家のお嬢さん二人を連れてきてくれて楽しく過ごすことが出来ました。

そして合宿中は毎朝必ず声を掛けて下さり、「困ったことはない？」と尋ねられ「顔を見ないと安心できない」とも言われました。優しい気配りと縁の下での力持ちでアイメイトの今日があるのだと思います。（談）



アイメイトへの自信と愛情

アイメイト後援会役員 福永達子さん

和子奥様のご訃報に接し、謹んでお悔やみ申し上げます。

私が後援会活動を通して和子奥様と一緒させていただいたのは、奥様が現役を退かれる前の 10 年間ぐらいだと思います。毎月の後援会役員会に出席して下さって、協会の近況をお話されたり、福祉関係の行政に対する意見を述べられていました。補助犬法が施行されたのもこの頃です。そうした中で、塩屋賢一さんと共に築き上げてきた「アイメイト」および「アイメイト協会」に対する自信と愛情を強く感じ、それらを守り抜く毅然とした姿勢を垣間見せていただきました。

また、卒業式に出席させていただいた際には、卒業される方達一人一人と言葉を交わす時間に、和子奥様とお話される番になると皆さん涙を流して感謝の言葉を述べられ、抱き合って別れを惜しんでいました。厳しい訓練の合間に、奥様の励ましや笑顔に心を癒されて頑張ることができたのだらうと、その固い絆を拝見して思いました。

和子奥様は、強さと優しさを併せ持った本当に素晴らしい女性だったと思います。

偉大な創業者ご夫妻が亡くなられて、アイメイト協会がまた新たな歴史を刻んで行かれる中、協会の益々の発展を願いつつ、これからも微力ながらお手伝いさせていただきます。

ご冥福をお祈り致します。



敬愛する塩屋和子様

アイメイト使用者

駒形美智子さん

先日、私の敬愛する塩屋和子様が旅立たれたと聞きました。

私は勤め始めて3年半ほどたったときに、アイメイト協会で最初の歩行指導を受けました。犬が苦手、家を離れての合宿が初めて、不安いっぱいの私に、「犬に負けないで…」と激励してくださいました。

当時の指導員は全員男性。暖かく、真のある優しさで接して下さった和子さんの存在がとても大きかったです。おかげで無事歩行指導を終えられました。

その後、世間知らずの私を静かに見守り、ときには未熟さに気づかせてくださいました。私にとって母のような憧れの方でした。

ご冥福をお祈りいたします。

しとやかで大人しい しっかりした方

アイメイト後援会前会長

佐藤典子さん

昔、新聞でアイメイトを知り協会へ伺いました。和子奥様は協会のお掃除やお台所をされていたので、少しでもお役に立ちたいと宿舎のお掃除のお手伝いをしました。

和子さんはしとやかで大人しいのに、しっかりしたお仕事をされて大尊敬していました。亡くなられて協会の皆様全員が力を落とされたことと思います。お世話になり有難うございました。(談)

強い意志と優しい笑顔で

アイメイト後援会員山田泰子さん

ミニ通信 76 号で塩屋和子さんのご逝去を知りました。賢一さん、和子さんに初めてお目にかかった時のことは今もはっきり覚えています。菜の花募金をきっかけに後援会に参加しました。まだ塩屋家自宅に協会施設がありました。東村山市に新施設の計画があり、地元の反対に困難な時でもありましたが。

和子さんのいつも穏やかな笑顔でいらしたこと、その笑顔が後援会員の背中を優しく支えて下さっていました。無事、今の協会施設が建設されて、事業が恙なく進められていく中でも、その笑顔は変わることはありませんでした。「日本の盲導犬事業の歴史をたどることは、お二人の半生をたどることにもなります」と、ミニ通信の中でも述べられています。

強い意志と優しい笑顔で歩んでいらした姿勢に、心から尊敬と感謝を申し上げたいと思います。



お元気で優しくて綺麗な方

アイメイト後援会役員荒井公江さん

アイメイトに携わって 30 年近くなりますが、和子さんと初めてお会いした時は、お元気で優しくて綺麗な方だという印象でした。当時は新施設建設の為に夢中で活動していて、私は親しい仲間とで、アイメイトの為に何でもやると、荷物を担いでどこへでも出かけました。そんな私たちを信頼して下さい、とても嬉しかったです。アイメイト協会は和子さんの内助の功で発展してきたのだと思います。本当に素晴らしい女性でした。今でも思い出すとふわっとした温かい気持ちになります。

(談)

いつもテキパキ、

事務所を一人で仕切っているようだった和子夫人

アイメイト後援会会員横川裕子さん

吉祥寺に住み始めてすぐの 1988 年末。娘と息子が犬を飼いたいと言い始めました。夫の仕事の関係で海外に転勤した場合、犬を連れていくことはできないのでダメだと告げました。するとどこで調べたのか、盲導犬になる子犬を預かって育てるのなら、1 年後には返すので問題はないはずだと主張するのです。そこで、当時は練馬区関町南にあったアイメイト協会（当時は東京盲導犬協会という名前でした）に、飼育奉仕を希望して伺ったのが、塩屋和子さんとの初めての出会いでした。

それ以来、約 30 年。子犬の飼育奉仕の後には、何頭もの繁殖犬を預かりました。「今度はオスの繁殖犬をお願い」などと、いつも電話がかかってくるのは和子夫人からでした。飼育奉仕の他にも、イベントなどのお手伝いをするボランティアがおられると聞き、その仲間にも加わりました。菜の花募金の箱の発送や集金、グッズの製作や発送など同窓会（使用者の会）のお手伝いで、協会をしばしば訪ねました。いつ事務所に行っても、飼育奉仕に関する問い合わせ、マスコミからの問い合わせ、使用者からの問い合わせなどをテキパキと処理し、賢一理事長を支えながら、まるで一人で事務所を仕切っておられるような和子夫人の姿を思い出します。長い間、お世話になりました。ご冥福を心よりお祈り致します。



初出勤の夢を実現

ベルギー人のDさんは、最近ついに長年の夢を実現させました。

それは、彼がたいへんかわいがっているアイメイトの繁殖犬を会社連れて行くこと。もともと飼育奉仕をしており、子犬の頃からこの子と一緒に暮らしていましたが、協会に戻って訓練を受けた後、繁殖犬となって戻って来たのです。初出勤、そして台風に向けてレスキューの準備をした様子をご覧ください。

僕は以前飼育奉仕をしてくれたDパパ一家に、協会で訓練を受けた後、今度は繁殖犬となって戻ってきました。

パパはベルギー人で、僕は日本語・英語・フランス語を理解するアイメイトになるはずでした。



パパは海外では今はやっているペットとの同伴出勤をすることが夢でしたが、つい先日その夢をかなえることができました。

パパと一緒に車でオフィスに初出勤、社員の皆さんから大歓迎を受けてパパの部屋に入りました。



とりあえずパパの椅子に座ってみました。気分はCEO。でもパパの名札の手前になんちゃって骨があったのでちょっとかじってみました。

来客時も、ミーティング時もじっと部屋の片隅で一応参加しましたが緊張の連続で疲れる一日でした。

パパとお揃いのヘッドライトを装着し台風に向けて準備しました。なぜかパパは嬉しそうです。





地震や火災などの災害に備えて

同窓会の懇親会・研修会をサポート

2019年11月17日（日）、アイメイト協会同窓会の懇親会と研修会に、後援会員6名がサポートに入り、楽しく充実した一日を過ごしました。

10時30分にJR駒込駅に集合し、視覚障害者ガイドヘルパー派遣事業所「春光」内にあるカラオケルームに誘導しながら行きました。

アイメイト使用者8名・協会職員3名・ガイドヘルパー1名と共に、おいしいお弁当を食べて懇親会を一緒に楽しみました。（「春光」は、所長さんご自身が視覚障害者で、ここのカラオケルームは、低料金で視覚障害者が利用・交流の場とすることを目的としており、晴眼者のみの利用は不可です。）

点字の歌詞カード集が置いてありますが、使用者さんの中には、ご自身の小型点字メモ機に歌詞を入力して準備されてきた方達もありましたし、得意の英語の歌を歌詞カードなしで披露される方も。皆さんとても上手で、協会職員の方々の歌も聞けました。私たちは、歌を聞きながら、拍手しながら、おしゃべりを楽しみました。そして最後には「ふるさと」を全員で合唱しました♪

研修会は、JR池袋駅へ移動。ここから参加の方も。池袋消防署内の防災館で約2時間、使用者さんをサポートしつつも後援会員も一緒に貴重な体験をすることができました。

防災に対する知識や心構え、日頃の準備などがとても大事だと、改めて感じることができました。



【消火コーナー】大型スクリーンに映し出される炎に向かって消火体験。他に【煙コーナー】があり、煙で視界が悪い中、かがんで出口を探す避難体験をしましたが、写真を撮る余裕がありませんでした。



【地震コーナー】
テーブルの下にもぐって、震度7の揺れを体験。



【救急コーナー】
心肺蘇生マネキンで胸骨圧迫をし、AEDを使用。





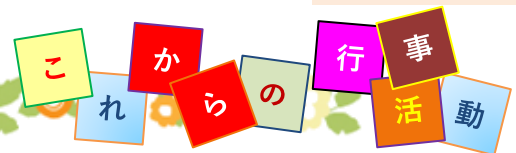
実施日	イベント名	場所	参加後援会員・使用者
6/15 (土)	川崎橋 LC 合同募金活動	川崎駅東口構内	小松 2・水野(晴)・水野(玲)・桑原・谷口・倉成・井上(徹)・鈴木 2・長谷川・JU 東京キャピクル
多くの参加者と JU 東京のキャピクル君 (ゆるキャラ) も頑張りました。今後は秋まで活動はお休みとなります。			
9/7 (土)	聖心宮代祭	聖心女子大学	大熊・水野(玲)・橋本・河原
現役のアイメイトと不適格犬が参加してくれてお部屋の雰囲気がほのぼのと和みました。また来年も会いましょう！			
9/15 (日)	京橋八重洲 LC 合同募金活動	銀座数寄屋橋	小松 2・井上(徹)・水野(晴)・水野(玲)・鈴木 2
9/23 (月・祝)	青山学院同窓祭	青山学院大学	飯島・武田・篠崎・森田・飯野・金澤
恒例のアイメイトスタンプラリーが好評で幼稚園生や小学生の参加が多かったです。			
10/5 (土)	高田介護予防センター講話	豊島区高田	飯島・篠崎・八方・吉川
豊島区公共施設にてアイメイトのお話を、使用者、繁殖奉仕、飼育奉仕の方々から来場の皆さんへ聞いて頂きました。			
10/20 (日)	江東区民祭り	木場公園	長谷川・鈴木 2・石川 2・飯野・富沢・藤井・富澤 2・橋本 3・中村
ふれあいのアイメイト関連犬がたくさん参加して賑わいました。今日が公園デビューの飼育犬が大人気で疲れ気味でした。			
10/27 (日)	アイメイトデー	全国町村会館	* 詳細別途
11/2 (土)	川崎橋 LC 合同募金活動	川崎駅東口構内	長谷川・倉成・井上(徹)・鈴木 2・水野(晴)・水野(玲)・菅谷
11/4 (月・祝)	木のくにときがわ祭り	ときがわ町	篠崎・山田・水出・養田
11/17 (日)	同窓会研修会	池袋防災会館	* 詳細別途 井上(裕)・倉成・富沢・須網・飯野・金澤
11/23 (土)	川崎中央 LC 合同募金活動	川崎駅改札付近	小松 2・長谷川・倉成・高橋・水野(晴)・桑原・鈴木 2



江東区民祭り



ときがわ祭り



実施予定日	イベント名	場所	担当者
12/14 (土)	ねりまユニバーサルフェス	ココネリホール	鈴木 薫
3/28 (土)	川崎中央 LC 合同募金活動	川崎駅改札付近	鈴木 薫
4/5 (日)	成蹊さくら祭り	成蹊大学キャンパス	井上 裕子
4/16 (木) ~18 (土)	アイメイトって知ってる？	練馬区役所	鈴木 薫
4/18 (土)	桜田門 LC 合同募金活動	銀座数寄屋橋	鈴木 薫
4/19 (日)	オール学習院の集い	学習院大学キャンパス	鈴木 薫

行事の予定は変更になる場合があります。参加の際は鈴木会長までご確認下さい。(03-6336-8870)

1年後に迫った東京2020オリンピック・パラリンピック。ミニ通信ではパラリンピックで視覚障害クラスのある競技を順番に紹介しています。今回は**5人制サッカー**を取り上げます。

東京2020大会 パラリンピック Paralympic Games

2020年8月25日開幕！

…紹介済	陸上	自転車	水泳	柔道	馬術	ボート
…今回分	トライアスロン	5人制サッカー	ゴールボール			

チケットの抽選販売も行われ、いよいよ盛り上がってきたオリンピック・パラリンピック。申し込みして当たった人、ハズレた人、悲喜こももだと思いますが、パラリンピックチケットの販売は来春に2次抽選、その後一般発売の予定だそうです。まだまだチャンスはありますので、あきらめずにトライしましょう。

FOOTBALL 5-A-SIDE thletics

視覚障害者によるサッカーで、別名「ブラインドサッカー」として知られる。ゴールキーパー以外の4名の視覚に障害のあるフィールドプレイヤーが、転がると音の出るボールを蹴って相手のゴールを狙う。想像以上に激しくスピーディーなスポーツだが、プレー中、観客はプレーの邪魔にならないよう、静かに観戦しなければならない。

競技名	5人制サッカー(Football 5-a-side)	対象となる障害:視覚障害
種目	5人制サッカー(男子)	
競技会場	青海アーバンスポーツパーク(江東区)	
関連団体	特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会(JBFA) (http://www.b-soccer.jp/)	

歴史

5人制サッカーは1980年代初頭に開発され、ヨーロッパ、南米を中心に広くプレーされてきました。IBSA (International Blind Sports Federation: 国際ブラインドスポーツ連盟) が統括し、フットサルのルールをもとに、視覚障害のある選手がプレーできるようアレンジされています。パラリンピックにおいては、2004年のアテネパラリンピック大会から正式競技となりました。日本には2001年に上陸し、支援者らの協力で国内での普及が始まり、2002年10月、JBFA (日本ブラインドサッカー協会) が正式に発足しました。

コートとボール

コート …ピッチはフットサルと同じ40メートル×20メートルですが、サイドライン上には選手やボールが飛び出さないように、高さ1メートルほどのフェンスを立てます。フェンスはまた、選手が触ってピッチの大きさや向きを把握したり、ボールを意図的に蹴って跳ね返りを利用するパスなどにも使われます。

ボール …フットサルと同じ大きさで、転がると「シャカシャカ」と音が鳴ります。

選手

「5人制サッカー」の名の通り、1チーム5名でプレーする。

フィールドプレイヤー 4名

視覚に障害のある選手でなければならない

ゴールキーパー 1名

晴眼、または弱視の選手

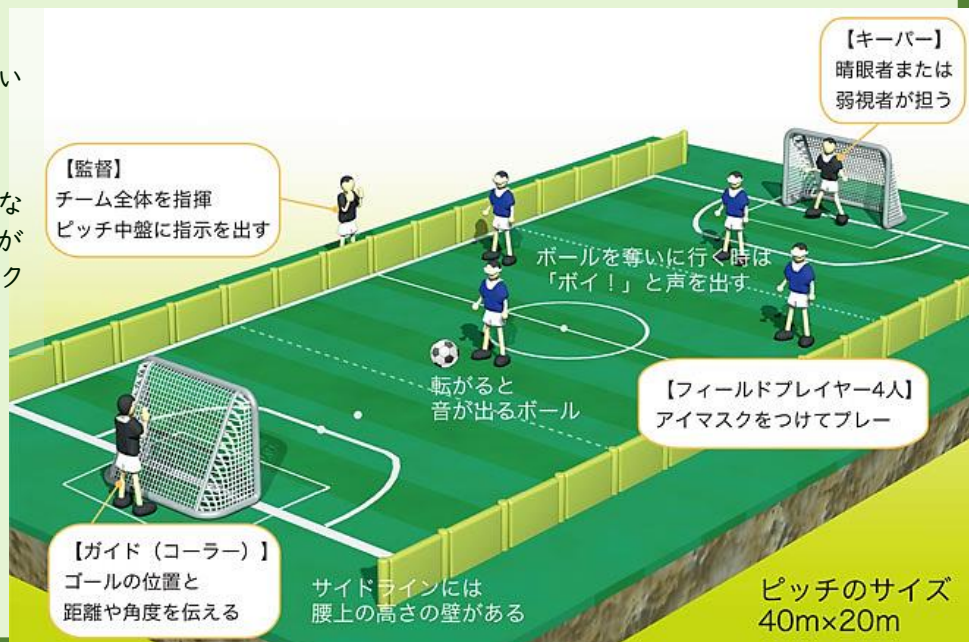
■選手には、光を感じる程度から、全く感じない全盲まで視覚に差があるので、全選手が公平な条件でプレーできるよう、アイマスクの装着が義務づけられています。

■声で情報を与える役割を担うのは

ガイド (またはコーラーと呼ばれる)
…相手チームのゴール裏から

監督 …自陣サイドフェンス外側

ゴールキーパー



ル ル

5人制サッカーは国際ブラインドスポーツ連盟(IBSA)が統括し、ルールは国際サッカー連盟(FIFA)のフットサルをもとに、視覚障害のある選手がプレーできるよう一部がアレンジされています。

■試合時間：前半 20 分／後半 20 分（ハーフタイム 10 分）

合計 40 分のプレーイングタイム…プレーが続いている間のみ試合時間を計測

- フィールドプレーヤーはボールを持った相手に向かって行く時に、「**ボイ!**」と声を出さなければなりません。選手の存在を知らせ、危険な衝突を避けるためのルールです。発しないとノースピーキングというファウルを取られます。「ボイ (Voy)」とはスペイン語で「行く」という意味です。
- 選手の危険を防ぐために、**スライディングは禁止**です。(通常のサッカーとは違う点です)
- ガイドは攻撃エリアにボールがある時に、ゴール裏から「8メートル、45度、シュート」のように、ゴールの位置などを伝えます。守備エリアにボールがある時にはゴールキーパー、中盤では監督(コーチ)がサイドフェンスの外から指示を出します。それぞれ声をかけられる範囲が決まっており、範囲外の選手に声をかけるとファウルになります。
- ゴールキーパーはゴールキーパーエリア内でのみ、ボールに触れることができます。反則するとPKをとられます。

見どころ

感覚をフルに!

駆け引き!

コミュニケーション

静寂から大歓声へ!

- ボールの音からは位置だけでなく、転がり方やスピードなども把握します。また、足音やウェアのこすれる音、相手のにおいや風など視覚以外の感覚をフルに働かせて情報を収集します。
- 攻撃では相手に自分の動きを悟られないよう、音を使ってフェイントをかけたり、ボールをふわりと高く蹴り上げたり(空中にある間は音が出ない)する駆け引きも行われます。
- 刻々と変わっていくピッチの状況を選手に伝えるガイドやゴールキーパー、また選手同士も声を出し合ってコミュニケーションをとります。お互いの信頼関係が、スピード感のある思い切ったプレーを生むのです。
- 静かに見守っていた観客の大歓声により、選手たちはゴールが決まったことを知ります。静寂と大歓声。このメリハリある観戦スタイルも、5人制サッカーの醍醐味です。



アイメイト後援会には**ナント!**ブラインドサッカーの審判をされている方がいらっしゃいます。

日本ブラインドサッカー協会公認審判 松本明子さんです。今回、この特集記事の制作にもご協力いただき、更にご利用して、ブラインドサッカーをよく知る松本さんならではの競技愛溢れる紹介文をいただきました!

こんなところにも注目!

実際に観戦すると、皆さんはきっと驚くことでしょう。見えない状態でこんなに速く走れるの?こんなにドリブルできるの?こんなに強くキックできるの?またフェンス間際の激しい攻防に、これは障害者スポーツなの?と。百聞は一見に如かず。**ぜひ来て、観て、感じてください!**

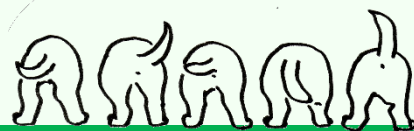
各地域でリーグ戦(北日本・東日本・中日本・西日本)も行われています(9~12月)。また、日本選手権や国際大会では視覚障害者や初めての観戦者が楽しめるように、音声実況ラジオの貸出や会場内を案内するサービス介助士のサービスもあります。

品川区の天王洲公園で開催されるワールドグランプリ(2020年3月16日(月)~21日(土))では、日本代表が世界のトップランクの国々と戦います。ワールドクラスのプレーを目の前で堪能してください!会場にはなんと**盲導犬用のトイレ**も用意されています。アイメイト使用者さんと一緒に観戦を楽しめますね。

最後に、パラリンピックの5人制サッカーは男子のみですが、**実は日本女子代表チームは世界最強**なんです。パラリンピックの5人制サッカーに女子種目は現状ありませんが、各地域リーグ、日本選手権では女子選手も男子選手に混じって**大活躍**しています。

2020年の2月8日(土)、9日(日)には各地域リーグの上位チームが富士通スタジアム川崎でカップ戦(KPMGカップ)を行い、また2月22日(土)にはさいたま市サイデン化学アリーナで日本代表女子チームがアルゼンチン女子選抜と対戦(ノーマライゼーションカップ)します。**躍動する視覚障害の女子選手の活躍にも注目です!**





アイメイト卒業生人数（2019年9月～11月）

期	卒業日	人数
第467期生	10月12日	2名
第468期生	11月16日	4名

【累計 1,380名】

《卒業予定》12月以降、下記のクラスが予定されています。

第469期生	12月21日	4名
第470期生	2020年 3月21日	3名
第471期生	4月25日	2名
第472期生	6月 6日	4名

アイメイト実働数

212組

(2019年11月16日現在)

全国の盲導犬 実働数

929組

日本盲人社会福祉施設協議会発表
(2019年3月31日現在)



2019年も残すところわずかとなりました。アイメイト後援会の皆さまには、今年も大変お世話になりました。この場を借りて心より感謝申し上げます。

年末年始は、職員が交代で犬舎の管理をします。街はしんとする時期ですが、協会では当番の職員とアイメイト候補犬たちが大所帯で大晦日とお正月を迎えます。

1. 年末年始の予定

冬期休業期間

2019年12月28日(土)
～2020年1月6日(月)

通常業務開始

2020年1月7日(火)

休業期間中は

ご不便をおかけしますが、
何卒よろしくお願いいたします。

2. 協会ウェブサイト 「事業紹介コラム」

今年5月から連載が始まりました。
レポーター・アイコがアイメイト協会の仕事を
密着取材してお届けするコラムです。
4週間の歩行指導について、
回を分けてくわしくお伝えしていますので、
ぜひご覧ください。
こちらのコラムは、今後も追加予定です。

https://www.eyemate.org/works_column/

3. アイメイト協会の 啓発ポスター配付

企業、学校、団体施設などで掲出して
くださる方に、無料で配付いたします。

原則として、お一人1枚。

数量に限りがありますので、在庫がなくなり
次第配付終了となります。

協会 HP よりお申込みください。

<https://www.eyemate.org/doc/education/>

皆様が、穏やかな
年末年始を迎えら
れますことをお祈り
いたします。

見学日に
参加してみませんか

2020年も

1月から11月まで、
毎月最終土曜日に見学日
(予約制)を開催予定です。

次回は1月25日(土)14時～です。

詳細は協会ブログをご参照ください。

アイメイトサポートグッズとは？

アイメイトサポートグッズは、収益をアイメイト協会に寄付するためにアイメイト後援会員が企画開発・制作しているチャリティグッズです。グッズの種類は文具、アクセサリ、雑貨など30品目以上。いずれもアイメイトやアイメイト候補の子犬をモチーフにしています。

ご購入方法

アイメイトサポートグッズは、オンラインショップと担当者への電話・Eメールによる注文、及び各地の学園祭・お祭りなどのイベント会場での直販にてお求めいただけます。

アイメイトサポートグッズ・オンラインショップ

<https://shop.eyemate-support.org/>

電話・FAX 090-4245-8226（電話） 03-6336-8870（FAX） 担当・内村浩介

SALE



写真ミニレター 訓練(緑)

アイメイト候補犬の写真入りのミニレターです。表紙と中面の右隅に訓練中の候補犬の「目ヂカラ」の強い写真をレイアウトしました。表紙にはアイメイトの訓練についての解説文つき。

帯色：緑 大きさ：縦8cm×横19cm
便箋枚数：25枚

¥300 → ¥200

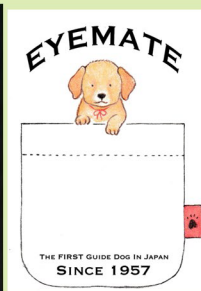


ハーネスラブピンブローチ（銅）

ハーネスをつけたアイメイトをイメージしたアイメイト後援会のロゴをかたどったピンブローチです。 ※金・銀は品切れです。

¥500 → ¥300

アイメイトTシャツ（ポケット子犬）



アイメイト候補の子犬がポケットから顔を出しているように見えるイラスト入りTシャツです。イラストは、アイメイトのリタイア犬奉仕者でもある絵本作家の「はせがわ・かこ」さんの作品です。

- ◆胸ポケットに見える部分はイラストです。
- ◆サイズは XS / S / M / L からお選びください。大きめのアメリカンサイズです。
- ◆色は白のみ

色：白
サイズ：XS / S / M / L
綿100%

¥1,800

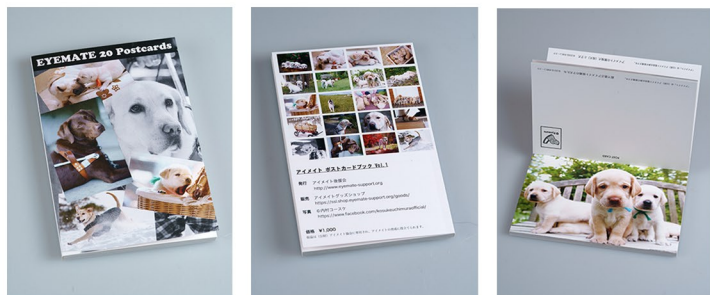
※ お子様にもオススメのXSサイズを追加しました。



お求めはネットショップで！（カード・振込・代引）
『アイメイトサポートグッズ オンラインショップ』
<https://shop.eyemate-support.org/>

オンラインショップは「アイメイトグッズ」で検索！ 全商品がご覧いただけます

ポストカードブックVol.1 (20枚組)



- ◆アイメイト・アイメイト候補の子犬のポストカードブック。
- ◆ポストカード20枚が1冊の本のように綴(と)じられています。
- ◆1枚ずつ切り離してポストカードとして使用できます。

ポストカード20枚組(表紙・裏表紙つき) 写真:内村コースケ

¥1,000

フォトブック Vol.1 「盲導犬ではなくアイメイト」

- ◆アイメイトの一生を、プロカメラマンがさまざまなシーンで捉えたフルカラー144ページのフォトブック。
- ◆アイメイト候補の子犬、訓練・歩行指導の様子、現役、不適格、リタイアと全ステージを網羅。
- ◆お子様にも分かりやすい簡潔な解説文つき。アイメイト理解の啓発にもご利用ください。



A5判144ページ・ソフトカバー

¥1,800

送料無料対象商品

フォトブックのみでも他商品との同梱でも送料無料です。

マイクロファイバークロス A(子犬寝姿)



スマートフォン・パソコンの画面や眼鏡拭きとして便利なマイクロファイバークロスです。生まれたばかりのアイメイトの子犬のかわいい寝姿の写真を片面にデザインしました。裏面は白の無地。

サイズ:W150 x H150mm

素材:ポリエステル70%、ナイロン30%
厚さ:0.5mm

¥400

ナイロントートバッグ

絵本作家の「はせがわ かこ」さんによるアイメイトのリタイア犬をモデルにしたイラスト入り。丈夫なナイロン生地、持ち手は肩にも掛けられる長さです。

サイズ:幅36~39cm×高33cm×底マチ7cm

持ち手:長さ52cm、幅4cm 素材:ナイロン

¥800



クリアファイル 2枚組M (子犬寝姿・ヒマワリ)



A4サイズのクリアファイル2枚組です。片面は全面写真、裏面はクリア(透明)部分を大きく取り、中の書類が見えるようになっています。12作目となる今回は、すやすやと眠るアイメイト候補の子犬と、ヒマワリ畑の前にいる現役アイメイトの写真のセットです。

表面:クリア(下部写真)

裏面:全面写真

大きさ:A4サイズ

¥300

HELLO! EYEMATE ワンタッチサーモボトル

軽量・スリムで携帯しやすい容量320mlの保冷温ステンレスボトルです。片手でサッと飲めるワンタッチオープン式。パーツごとに分解洗浄できます。オリジナルロゴ入り。



本体色:ネイビー 容量:320ml サイズ:φ57×221mm

¥2,000

本革ハンドストラップ・黒&銀ラブ

指を掛けて持つ事が出来るストラップ。金属製のアイメイト後援会のロゴ付き。ストラップは本皮製です。

色:黒&銀

革の長さ:6.5cm

¥1,000



お買上げ5,000円以上送料無料
(5,000円未満は全国一律500円)

※カレンダーとフォトブックは金額に関わらず送料無料

Eメール・電話/FAXでもご注文可能です(振込・代引)

Email: goods@eyemate-support.org

TEL: 090-4245-8226 FAX: 03-6336-8870

(担当・内村浩介)

2020 アイメイト・サポートカレンダー

見開きA3サイズ13枚の中綴じ仕様

¥1,000

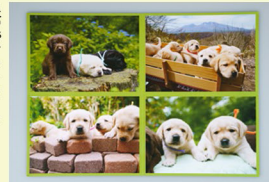


- ・誕生から引退後の生活まで、各ステージのアイメイトと支える人々の絆をテーマにしたカレンダーです。
- ・長年アイメイトを撮影しているプロカメラマンが、現役アイメイト、アイメイト候補の子犬、訓練・歩行指導などの実際の様子を季節感と共に撮り下ろしました。
- ・各月の写真のキャプションと巻末の特設ページにより、アイメイトへの理解を深めていただける内容になっています。教材や啓発資料にも最適です。

カレンダーご注文で送料無料サービス

限定ポストカード（4枚組）付属

※例年12月末～1月末に完売します。品切れの際はご容赦ください。

限定
ポスト
カード

ミニタオル（3色アイメイト）

イエロー、ブラック、チョコの3色のアイメイトのイラスト入りミニタオルです。ハンカチなどに使いやすい22cmx22cmのポケットサイズです。裏面は白の無地。イラストは、アイメイトのリタイア犬奉仕者でもある絵本作家の「はせがわ・かこ」さんの作品です。

色：白地／粋・紺

サイズ：22cm x 22cm

綿100%

¥500

カバー付き付箋（ふせん） 3色30枚綴り 子犬・訓練犬・現役アイメイト



カバー付き付箋の2作目です。短冊状の付箋紙が3組・30枚綴りでセットされています。カバー写真は、表紙がいたずら盛りのアイメイト候補の子犬、中面が訓練中の候補犬、裏面は現役アイメイトです。

大きさ:8cmx8cm

付箋紙枚数：30枚x3

付箋紙色：黄・青・ピンク

¥300



お求めはネットショップで！（カード・振込・代引）
『アイメイトサポートグッズ オンラインショップ』
<https://shop.eyemate-support.org/>